

2023年5月9日

関係者各位

公益社団法人 日本ラグロス協会 事務局

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた公式戦の運営基本方針 (2023年 第2版)

本年2月18日に本方針第1版を発信し、各種運営制限を大きく緩和しましたが、下記の行政対応の内容および社会動向を踏まえ、マスクの取り扱い、応援時の制限、宿泊時の制限を緩和すべく、この度第2版に更新することといたします。なお、実態把握および対策緩和の影響を確認する目的で、感染発生時の報告のみ当面継続致します。

- 本年2月10日付：マスク着用の考え方の見直し等について
(※3月13日以降：個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる)
- 本年5月8日付：新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行

5類に移行しても、感染症自体のリスクは依然として存在します。コロナ禍での3年間で培ったリテラシーをベースに、引き続き正確な情報を見極め、他者の価値観を尊重し、誠実に行動することを、どうか心がけていただければ幸いです。

また、繰り返しとなりますが、本方針はラグロスに関係する各々が感染症の動向や、行政や施設等の定めを都度確認し、各行事の準備・運営・参加をすることを前提としたものです。コロナ禍で生まれた工夫も活かしつつ、素晴らしい公式戦文化を作っていきましょう。

公式戦開催にむけての前提：

- ・ 政府、各自治体、公的機関等による定めや、世の中の動向を逐次確認する。
- ・ 大会毎の運営主管が自主的に最新情報を確認し、行事催行について判断する。
- ・ 各大会の直前又は期間中でも、状況次第で中断、形式変更、中止できるよう備えておく。
- ・ マスク着用の制限は大幅に緩和するが、エチケット観点から当面運営側は着用とする。
- ・ 観客上限に関しては一律の制限を設けず、行政・施設の定めに従う。
- ・ 感染動向の把握の為、感染発生時には引き続きフォームで報告する。
- ・ 活動チェックリストの都度提出は不要とする。但し、大会参加申請・行事参加申込の際に体調不良時の参加を行わない旨、包括的に同意を取り付ける。

運営基本方針：

催行判断	・大会毎の運営主管が自主的に最新情報を確認し、行事催行について判断する。
対面会議	・行事運営の準備等における、対面活動は可能とする。 ・オンライン開催／ハイブリッド開催も活用する。
宿泊	→当面、同部屋宿泊が4名以下に収まるようなオペレーションとする。 ・同部屋宿泊の上限は無しとする。
感染者発生時の対応	・大会期間中以外でも、感染者が発生した場合は所定フォームで報告する。 →特に大会期間中に感染者が発生した場合は、大会主管にも報告する。 ※報告方法は別途定めるフローに従うこと。

会場対応・観客に関する制限：

チーム備品	・リスク高の備品（ドリンク等）は個人管理とするなど、チームで対策する。
選手用具	・リスク高の装具（マウスピース等）の着脱時は、周囲に十分配慮する。
マスク	→選手、スタッフ、指導者、審判員はマスク必須としない。 →ベンチ入りメンバーはマスク着用なしでのベンチエリアでの大声も可とする。（但し、周囲には配慮すること。） →MC/GD：常時着用。（水分補給時除く） →オフィシャルテーブル：常時着用。（水分補給時除く） →ボールパーソン：着用不要とする。 →観客：原則マスク不要とするが、声出し応援時はマスク着用とする。 ・個人の判断に委ねる。
声出し応援	以下①②を満たす場合は「声出し応援」を認める。 ①各行政によって定められた声出しに関する条件（収容率等）を満たしている。 ②施設として、声出し応援を認めている。 【観客の観戦ルール】 →大声を出す際にはマスクを着用し、他者との間に身体的距離を確保する。 →声出し応援時は、常にフィールド方向を向く。 ・周囲に最大限配慮する。
観客の把握	・全観客の情報（名前・連絡先）の把握は不要とする。 （有料試合以外での Peatix 等受付システム使用は不要とする。）
観客の制限	・大学グラウンド等の制限がある施設では、定めに応じて制限する。 ・施設のキャパシティ等を考慮し、運営判断で制限することも可とする。
会場の公開	・非公開にする旨の施設制限がない限りは、全試合基本的に公開する。
メンバーリスト	・ベンチ入りメンバーのみの記載でよい。体温記載は不要とする。 ・オフィシャルチームはメンバーリストの提出は不要とする。
活動チェックリスト	・活動チェックリストの都度提出は不要とする。 ・チームは行事参加申込時に、体調不良者は来場しない旨の同意を取る。

感染者発生時の対応・報告：

- ・ 感染者／濃厚接触者が発生した場合、対応方法、療養期間／待機期間について、行政の最新の情報を確認し、定められたプロセスに従う。
- ・ 感染動向の把握の為、感染発生時には引き続き以下フォームで報告する。
<https://forms.gle/BwinukV4qPaFjuwm7> (⇒QRコード)



- ※ 各大会の開催期間中に、参加チームにおいて新型コロナウイルス感染症の感染者が発生したとしても、大会運営への報告は不要とします。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の発生が原因で、人数不足等によりチームとして試合参加が困難となった場合においても、延期・再試合を調整することは致しません。その場合は不戦敗扱いとなります。

→ JLA 主催行事に参加している場合、開催期間中（直前・直後含む）は、報告フォームへ入力するとともに、次の経路にて報告する。

- 試合チーム／オフィシャルチーム：チーム代表者から大会運営責任者
- 審判員：該当者となった審判員から、審判部および審判派遣担当者
- 大会運営スタッフ：該当者から大会運営責任者

※ 報告を受けた後の、大会運営側による基本対応は以下の通り。

試合の参加予定者から感染者（疑い含）・濃厚接触者が発生した場合

- ・ オフィシャル、審判、大会運営スタッフでの欠員は代理を探す。
- ・ 試合チームの影響範囲および活動可能人数を確認し、チームとして試合参加が困難となった場合には、可能な限り延期・再試合を調整する。
- ※ 詳細は各リーグ戦規約を参照すること。

既に実施した試合の参加者から、感染者・濃厚接触者が発生した場合

- ・ 会場施設に、第一報として共有する。
- ・ 他への影響可能性がある場合、影響のある範囲の参加者に情報共有する。
(該当者を特定できるような情報は絶対に伝えない。)
- ・ 情報の進展があれば、必要に応じて参加者および会場施設に共有する。

以上